

# 正 誤 表

「看護学テキスト NiCE 成人看護学 成人看護技術（改訂第2版 第1刷）」

下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
78	本文2行目	先端にレンズと光源をもつ	先端に対物レンズと照明レンズをもつ
79	本文6行目	レーザー	アルゴンプラズマ凝固波
79	本文10行目	浸潤範囲	病変範囲
79	本文12行目	たとえば、ヨード	たとえば、食道においてヨード
80	必要物品の 2～4行目	咽頭麻酔薬、消化管ガス排除薬（ガスコン水）、鎮痙薬（抗コリン薬）、鎮静薬	麻酔薬、消化管ガス駆除薬、経鼻の場合は血管収縮薬、必要に応じて鎮痙薬（抗コリン薬）、鎮静薬
81	上から 3～13行目	<p><b>(誤)</b></p> <p>①消化管ガス排除薬を4～8 mLを飲んでもらう。胃の中にまんべんなく行きわたるように仰臥位となり、左右に体位を向けてもらう。</p> <p>②医師の指示により、鎮痙薬（抗コリン薬）を筋肉内注射する。</p> <p>③キシロカインビスカスを咽頭部に約5分間とどめてもらい咽頭麻酔を行う。5分経過した後にキシロカインビスカスを吐き出してもらう。</p> <p>▶スコープが咽頭部を通過する際の苦痛を軽減するため。 ▶麻酔のかけ具合によってキシロカインスプレーを追加することがある。</p>	<p>●指示箋を確認し、前投薬を実施する。</p> <p>▶胃の動きを抑制するため。</p> <p>●全身状態を観察し、キシロカインショックに注意する。</p> <p>●キシロカインショックとは、キシロカイン（一般名：リドカイン塩酸塩）を使用した時に起こすアナフィラキシーショックのこと。血圧低下、意識障害、気道閉塞などを呈し、生命の危機につながる可能性がある。</p>
		<p><b>(正)</b></p> <p>①消化管ガス駆除薬（ジメチコン [ガスコン<sup>®</sup>]）を4～8 mLを飲んでもらう。胃の中にまんべんなく行きわたるように仰臥位となり、左右に体位を向けてもらう。</p> <p>②局所麻酔を行う。 ＜経口の場合＞ リドカイン塩酸塩（キシロカイン<sup>®</sup>ビスカス）を咽頭部に約5分間とどめてもらい咽頭麻酔を行う。5分経過した後にキシロカイン<sup>®</sup>ビスカスを吐き出してもらう。 <b>根拠</b> スコープが咽頭部を通過する際の苦痛を軽減するため。 ▶麻酔のかけ具合によってキシロカイン<sup>®</sup>ポンプスプレーを追加することがある。 ＜経鼻の場合＞ 血管収縮薬（ナファゾリン硝酸塩 [プリピナ<sup>®</sup>] など）を点鼻・噴霧した後に、鼻腔内をリドカイン塩酸塩で麻酔する。 <b>根拠</b> 鼻出血を予防し、鼻の痛みを予防するため。 ▶咽頭反射が強い場合には、必要に応じて咽頭麻酔を行う。</p> <p>③必要に応じて、鎮痙薬（抗コリン薬）を筋肉内注射する。 <b>根拠</b> 胃の動きを抑制するため。</p>	<p>●指示箋を確認し、前投薬を実施する。</p> <p><b>注意</b> 全身状態を観察し、いわゆるキシロカインショックに注意する。</p> <p>●キシロカインショックとは、リドカイン塩酸塩（キシロカイン<sup>®</sup>）を使用した時に起こすアナフィラキシーショックのこと。血圧低下、意識障害、気道閉塞などを呈し、生命の危機につながる可能性がある。</p>

頁	該当箇所	誤	正
82	上から 1～9 行目	<p>(誤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>⑦ スコープを挿入する。</li> <li>⑧ 胃液の吸引、スコープのアングル操作、送気、送水しながら、医師による胃内の観察・写真撮影が行われる。 ▶ 場合により、<b>色素散布</b>、<b>生検</b>、<b>局所注射</b>などが行われる。</li> <li>⑨ 生検する場合は、医師の指示による鉗子进行操作する。 ▶ 生検後の<b>出血</b>には、止血剤が散布される。または、止血剤を筋注する。</li> <li>⑩ 採取した<b>組織片</b>を受け取り、標本びんに入れる。</li> <li>⑪ 医師によりスコープが抜去される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 口から挿入する場合は、食道に入ったらマウスピースを軽く歯でかんでもらうようにする。</li> </ul>
252	中央の図の 箇条書き 1 つ目	● 圧迫の深さ 5～6cm 以上	● 圧迫の深さ 約 5cm で、6cm を超えない
252	左欄、 下から 6 行目	5cm 以上の深さ	約 5cm の深さ

2017 年 5 月  
株式会社 南江堂